

教科名		家庭	教科書調査報告
発行者名		東京書籍	開隆堂出版
調査の観点			
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に基本技能に関する実物大の写真や、動画(右利き・左利き)が掲載されていて、児童が確認しながら取り組むことができる。 ・題材の始めに「めあて」、終わりに「ふり返ろう」を設けるとともに、「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの学習活動を取り入れ、ステップを踏んで学習内容が定着するよう工夫されている。 ・基礎技能を実際の生活場面で生かせるよう、「生活を変えるチャンス！」のページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生で11題材、6年生で9題材が設定され、5年生では基礎・基本の定着を図り、6年生では5年生で学習した技能を基に工夫して生活に生かす題材の配列になっている。 ・安全・衛生に注意するポイントが安全マークで強調されている。 ・スモールステップの学びで、簡単なものから繰り返していくことで、着実に基礎・基本の知識・技能を身に付け「できる」という自信をもたせることができる。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「団らんを生活の中に生かそう」などの学習を題材の終わりに設定し、学習内容を生活に結び付けるための構成上の工夫がされている。 ・生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス！」として設定し、生活の中から課題を見付けられるように促している。 ・全ての大題材について「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップで構成され、課題解決的な学習がしやすい構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察、実習などの活動を通して、話し合いや思考する活動、発表や意見交換の場面が随所に設定され、児童が自分の言葉で表現できるように配慮されている。 ・「①気づく・見つける②わかる・できる③生かす・深める」の順で学習を進めることにより、課題解決的な学習に取り組みやすい構成となっている。 ・生活に関わる見方・考え方が「クローバー」で表示されて分かりやすい。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真が、色覚の多様性にも配慮されて大きく見やすい。文字もユニバーサルデザインフォントが使用され、読みやすくなっている。 ・全ての調理実習・製作実習を二次元コードから動画で確認することができ、実習前の確認や、家庭での実践にも役立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の視点を取り入れ、ユニバーサルデザインフォントや、見やすい色使いのほか、実物大資料で大きさの感覚がつかみやすい。 ・二次元コードから実習手順を動画で確認でき、より分かりやすくなっている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsアイコンと、家庭科の各題材の学習内容の関連を掲載するとともに、「主として持続可能な社会」の視点で考える題材については、題材の最初のページの右上に明記している。 ・学年の単元の一つに「持続可能な社会の物やお金の使い方」を設け、消費生活と環境を総合的に扱い、SDGsにつなげている。 ・外国人や障がい者との関わりを示したイラストを掲載し、共生の視点に気付くように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの居場所づくりや、建築士、プラスチックごみ削減に取り組む海洋学者等、持続可能な未来のために社会で活躍する方々のキャリアインタビューを掲載している。 ・題材名「9 持続可能な社会のために」を中心に、身近な生活の中で環境とのつながりを考え、児童が主体的に取り組める内容が取り入れられている。 ・様々な年代や国籍など多様な人々が登場し、多様性に配慮した紙面作りになっている。
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての実習が安心して安全に行えるように、巻末資料「いつも確かめよう」には、実物大の写真がある。 ・児童が意欲的に学習に取り組めるように、キャラクターが吹き出しで学習のポイントを示している。 ・二次元コードの「トライシート」を用いることで、自分の考えを整理することができる。 ・各題材の導入部分では、児童の身近な家庭や学校の場面を写真やイラストで大きく示し、自分なりの課題をもって学習に取り組めるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判で、写真やイラストが大きく、学習への興味・関心や意欲が高められる。 ・調理や製作の写真が児童の目線と同じように工夫されている。 ・動画資料が豊富で、児童が理解しやすい。 ・学習の導入部分では、最初にその題材を象徴する写真やイラストが配置され、学習へのワクワク感や意欲を高める工夫がされている。写真やイラストに関連して、児童への問いかけがあり、児童が自分なりの課題を見付けやすくなっている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「日々の備えマーク」を用いて、生活の中での災害対策や地域の農業の実践事例を写真などを用いて掲載している。また、「環境マーク」で環境に配慮した生活のポイントを示している。 ・食育として、日本の食文化や伝統文化を扱っている。 ・日常の生活における消費者としての見方・考え方としてESDを重視し、実践に結び付ける知識や態度が身に付くように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを意識した消費者の一員としての意識が高まるように、環境や資源について考えられた内容になっている。環境に関わる内容を扱う箇所には、「環境マーク」が付いている。 ・車いすを使用したキャラクターが登場するなどインクルーシブ教育の視点が含まれている。 ・多様な家族が登場し、共生の視点で児童が学習できるように配慮されている。